

2022年10月28日

各位

## 地域文化活動助成制度の第62回助成先が決定！

～「草の根」文化活動をお手伝いして31年～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、第62回 地域文化活動助成制度の助成先を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、愛媛県内で文化活動を継続しておられる皆さま方に対し、活動経費の一部を助成させていただくことで、地域独自の伝統文化の継承や地域生活文化の水準向上に寄与することを目的としています。コロナ禍を乗り越えて、3年振りに活動を再開された団体など、今回は16先に総額295万円を助成いたします。

本制度は1992年から年間2回の助成を30年にわたって実施しており、今回分を含めた累計は、先数で1,312先、総額約2億5千4百万円となります。(「平成30年7月豪雨」被災団体対象 特別助成15先、747万円を含む)

### 記

#### 〔第62回 地域文化活動助成制度の概要〕

- 助成先数 16先
- 助成金額 295万円
- 助成金贈呈式 松山市で開催(詳細は別紙をご参照ください。)
- 助成先(分野別、順不同、敬称略)

|   |  |
|---|--|
| <b>音楽分野 (2先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虎造節保存会 (松山市)</li> <li>・ ウインドアンサンブル・カイツ (内子町)</li> </ul>                       | <b>郷土芸能分野 (8先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御面渡御祭保存会 (東温市)</li> <li>・ 田窪・宇氣洲神社獅子舞保存会 (東温市)</li> <li>・ 落合獅子舞保存会 (久万高原町)</li> <li>・ 有津獅子舞保存会 (今治市)</li> <li>・ 佐方獅子保存会 (今治市)</li> <li>・ 新居浜市消防団 船木分団 (新居浜市)</li> <li>・ 古市組獅子舞保存会 (西予市)</li> <li>・ 野村相撲呼出し保存会 (西予市)</li> </ul> |
| <b>文芸分野 (1先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若葉句会 (四国中央市)</li> </ul>   |  |
| <b>郷土史分野 (1先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日土史談会 (八幡浜市)</li> </ul>  |  |
| <b>国際交流分野 (2先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛媛 SGG クラブ松山支部 英語部翻訳グループ (松山市)</li> <li>・ 愛媛 SGG クラブ新居浜支部 (新居浜市)</li> </ul> | <b>生活分野 (2先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 永納山古代山城跡の会 (西条市)</li> <li>・ 玉の子文庫 (西条市)</li> </ul>   |

以上

【助成金贈呈式】

○日 時

2022年11月4日（金） 10：30～13：00

○場 所

東京第一ホテル松山 2階 コスモホール

○式 次 第

10：30 当行代表挨拶

10：40 助成金目録・賞状贈呈

10：55 伊予銀行文化振興顧問団委員祝辞

11：00 助成団体の活動映像紹介・質疑応答

12：05 記念撮影

12：40 閉式挨拶

12：45 閉式

○出 席 者

助成団体16先の各代表者様

伊予銀行文化振興顧問団（子規記念博物館 総館長 竹田 美喜氏 他3名）様

当行取締役会長 大塚 岩男

当行取締役頭取 三好 賢治

当行専務取締役 長田 浩

以 上

## 助成団体・助成内容の一例ご紹介

とらぞうぶしほぞんかい  
**虎造節保存会様**

助成対象：第7回名演会開催  
(弘法大師・空海 生誕 1250 年記念大会)

虎造節保存会様は、かつて絶大な人気を誇った浪曲師 2 代目 廣澤虎造の芸を中心に、浪曲を継承しようと設立されました。

浪曲は明治時代初期から始まり、最盛期の昭和初期には全国で 3 千人もの浪曲師がいました。

中でも 2 代目 廣澤虎造の芸は「虎造節」と呼ばれ、「話芸の至宝」と賞され、会では優秀な後継者を発掘しようと、東京浅草の木馬亭にて定期的な「全国大会」や、県内でも、全国大会上位入賞者による「名演会」、会員の発表会を開催しています。

また、新作にも取り組み、これまで「廣澤虎造伝」「清水次郎長伝」「子規の生涯・前編」を発表しました。

来年 5 月 27 日(土)には、松山市民会館 小ホールにて、虎造 60 回忌 記念公演「虎造節・第 7 回名演会～弘法大師・空海 生誕 1250 年記念大会～」を開催予定です。



ふるいちぐみししまいほぞんかい  
**古市組獅子舞保存会 様**

助成対象：油単新調

古市組獅子舞保存会様は、野村町古市地区に伝わる獅子舞を保存継承されています。

三嶋神社の秋祭りで奉納されたのち、1 日かけて町内 5、60 軒の家々を廻ります。

獅子は、太鼓の音と共にどこからともなく現れ、まずゴザの上に座り、ゆっくりと舞いはじめます。

次第にテンポが速くなるにつれ中腰となり、最後には立ち上がって激しく舞い、横に噛みつくような仕草を見せながら、クライマックスを迎えます。

舞い終わると観客の間を抜けて、どこへともなく去ってゆきますが、これは、姿を消しても神社の狛犬と同じく、守護の任についていることを表していると言われています。

古市地区は 10 軒程の小さな集落ですが、野村唯一の獅子舞の伝統を絶やすまいと、地域一丸となって継承活動に取り組んでいます。

